

登録コード	E6108900	開講年度	2026				
授業科目	障害児研究法実習				担当教員	下山 真衣	
英文授業名	Field Seminar on Intervention Strategies for Children with Disabilities				副担当	宮地 弘一郎・楠見 友輔	
単位数	2	講義期間	通年	曜日・時限	木曜・5時限 木曜・6時限	対象学生	3年生
講義室	教育E101 教育E106 教育E201	授業形態	実習	遠隔授業科目		備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				・障害に関する倫理観や特別支援教育への理想をもって行動できる		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				・臨床、実験、教育領域から得られた知見を理論に結びつけ、考察できる ・特別支援教育に関する研究法や実習を通して実践知および基礎的技能を身につける		
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働、健康長寿						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	この実習は、特別支援教育において不可欠な専門的な知識とともに臨床実践、実験における基本的技能を養成することを目的に行われる。特別なニーズのある子どもたちに実際に参加してもらうなどし、臨床、実験、教育領域において実習を行う。						
(5)授業計画	1．授業ガイダンス...選択プログラムについての説明を行い、履修学生は各プログラムを選択する。 < 選択プログラム > 臨床（主として知的障害児・発達障害児の心理臨床） 実験（障害児の生理・心理学的評価法） 教育（障害児教育） 2．各プログラムにおける実習に参加する。 第1回　ガイダンス 第2回　臨床　アセスメント 第3回　臨床　実践 第4回　臨床　評価 第5回　実験 第6回　実験 第7回　実験 第8回　教育 第9回　教育 第10回　教育 第11回　臨床、実践、教育における研究法 第12回　臨床、実践、教育における研究実施 第13回　臨床、実践、教育における研究分析 第14回　臨床、実践、教育における研究のまとめ 3．各回の実習の事前ミーティング、準備、事後ミーティングを行う。 4．前期（7月末）と後期（1月末）に活動レポートの提出を求める。 5．　授業最終日に、各担当教員の指示により授業アンケートを実施する。 6．　通年授業のため、教育実習中は授業を行わない予定である。						
(6)成績評価の方法	各プログラムの参加を基礎要件とし、毎回の活動報告（50％）と各期末の活動レポート（50％）の内容を総合して「合」または「否」で評価する。						
(7)成績評価の基準	活動認定ポイントを満たし、かつ活動報告と期末の活動レポートより、省察に基く実践の態度とスキルが身につけていれば「合」の水準を満たすものとする。						
(8)事前事後学習の内容	臨床実習、実験実習の性質上、授業時間外における実習の事前準備、事前打ち合わせ、片付け、事後打ち合わせのための時間が必要となる。そのような時間は毎回合わせて4時間程度必要となる。なお本科目は、授業と授業時間外での自学自習とを合わせて90時間程度の学習を原則とする。						
(9)履修上の注意	実際に協力者として外部からお子さんが参加するため、決まった日程に必ず受講生も参加すること。なお、参加希望の日程は話し合いの上、決定する。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	質問・相談等がある場合はメールで対応する（アドレスは時間割表に記載）。研究室訪問は常時受け付けけるが、なるべく事前に訪問日時を相談すること。 下山　mshimoyama@shinshu-u.ac.jp 宮地　miyaji@shinshu-u.ac.jp 楠見　kusumi@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	適宜提示する						

【参考文献】	適宜提示する
--------	--------